

～ 地域の安心・安全を守る建設業 ～

写真右上は去る4月に発生した天竜区春野町の高杉地区の地すべり災害の現場です。この崩落により直下を流れる杉川は土砂で堰きとめられ、周辺民家への浸水や農地の冠水などの恐れが出てきました。左下はこの緊急事態の中、静岡県浜松土木事務所長からの出動要請を受け、堰きとめられた川の仮排水路や崩土流出防止工事等の応急対策を機敏に行い、守屋所長（中央）から感謝状を授与された春野地区の会員4社です。今回は、この地すべり災害への対処をはじめ地域の安心・安全を守る天竜建設業協会会員の活動を紹介します（次ページに続く）。

▼一刻を争う応急対策への出動要請

大規模な斜面崩落が発生した天竜区春野町高杉地区の現場では、本年3月21日に斜面上部の茶畑に亀裂が見つかり県の浜松土木事務所を中心に関係機関が監視活動を行っていました。

1ヶ月後の4月21日には一気に崩落の危険が高まり、地域の6世帯に避難勧告が出されました。そしてついに2日後の4月23日午前4時20分、推定崩壊土量5万³mの大規模な地すべりが発生しました(その後、さらに25日、26日と連続して発生)。

この土砂は直下を流れる一級河川杉川を一瞬にしてほぼ埋めつくしました。このままでは川から水があふれ、周辺の民家への浸水や農地の冠水の恐れがあり、また大雨が降れば下流部への大きな影響も懸念される事態となりました。

このため、県の浜松土木事務所長から地元春野地区の会員に対し、堰きとめられた川のバイパスとして応急の排水路工事と崩土流出防止など関連工事を早急に行うよう出動要請が出され、地元4社(小林建設(株)、(株)西村組、(株)正久工業、(株)松下建設)が連携してこれに対処することとなりました。

一刻の猶予も許されない中、各社



▲一刻の猶予も許されない中、4社は早朝から翌日午前0時過ぎまで懸命に仮排水路工事に取り組んだ。

は持てる人材と資機材を投入し、4月23日午前9時30分の作業開始から夜中まで懸命の作業を続け15時間後の翌日午前0時30分には幅20m、深さ3m、延長230mに及ぶ仮排水路とその関連工事を完了させました。事前の準備も十分ではない中で、一連の工事を成し遂げたのは、4社の連携プレーに加え、行政からの要請に対する使命感と建設業としてのプライドであったと思います。

こうした4社の機敏な活動について、4月25日に現地視察に訪れた川勝知事から感謝の言葉をいただき、また、8月2日には浜松土木事務所長から感謝状を授与されました。



▲応急工事の完了により、仮排水路への通水が始まった。



▲完了した仮排水路(中央)を上空から臨む(右側は国道362号)。堰きとめられた水があふれ出せば周辺の民家や農地に大きな被害が及ぶ事態が想定された。

▼行政と建設業の災害協定

ところで県の調査では県内で確認されている地すべり、急傾斜地等の土砂災害危険箇所は1万5千箇所以上あり、うち約180箇所の地すべ

り危険箇所の4割が天竜区に集中しているといわれます。このため、当地区では地震や台風・大雨をはじめ、様々な要因により災害の発生する環境下にあります。

災害発生時には、行政と関係機関の連携が重要となりますが、こうした体系の一つとして国や自治体と県下建設業協会会員とのいわゆる「災害協定」があります。

天竜建設業協会では国土交通省浜松河川国道事務所長や県浜松土木事務所長、同西部農林事務所長、そして浜松市長との間で、「災害時における応急対策業務に関する協定書」を締結しています。

これは地震や風水害等により道路や河川、山地等に被害が発生した場合又はその恐れがある場合に、建設業者が自ら地域のパトロールを実施したり被害発生時には行政の出動要請を受け、応急対策を行うというものです。

また、こうした協定をもとに定期的な防災訓練なども実施しており、日頃からの防災力の点検と信頼感の醸成に努めています。

▼平成23年の台風15号への出動

特にこの協定に基づく活動として、平成23年9月に地域を襲った台風15号への出動があげられます。幸いにも人命には被害がありませんでした

が、天竜区内各所の道路(路肩、法面)や河川、山地などに大きな被害が発生しました。

この時には台風の接近時から全会員が警戒態勢に入り、浜松市天竜土木整備事務所などとの連携のもと、まだ風雨が収まらぬ夜半から朝方にかけて地域の被害状況の調査や道路上の障害物(土砂、風倒木)の除去などの応急対策活動にあたりました。

道路などに被害が出た場合には、通勤や通学、買い物といった日々の生活に直ちに影響が出ます。そうした影響を最小限に食い止めるため、建設業は出来る限り早期の復旧に向けて懸命に努力しています。こうした作業には常に危険が伴うものですが、地域を守る建設業の使命感がそこにはあります。



▲平成23年の台風15号は暴風雨による被害が発生し、各所で国・県道等を塞いだ風倒木や土砂等の除去にあたった。

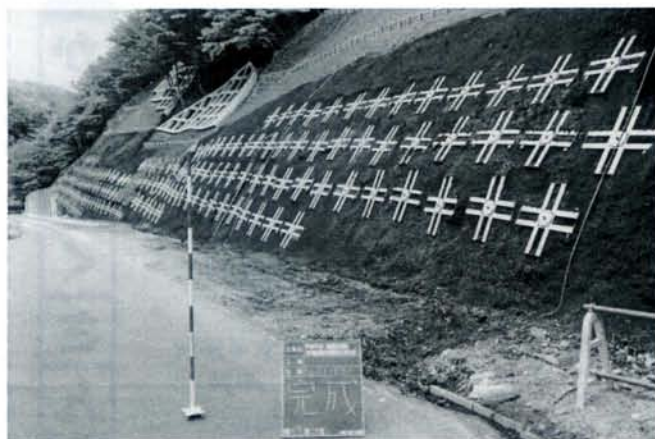
▼常に地域の安心・安全を守る
地域の建設業は、土地勘や地形・地質等を熟知し、厳しい条件下での



▲急な斜面での災害復旧工事の様子。天竜区の工事はいずれも厳しい条件下での作業だ。



▲また各所で道路上への土砂の崩落や路肩の陥没などの被害も発生し、地元の建設業は早期の復旧に向けてもその力を発揮した。



技術・技能や経験を有しています。これにより災害時に限らず、日頃の道路や河川の改良、治山等の公共工事をはじめ道路等の維持補修、冬の路面凍結対策の受託など様々な事業活動を通じ、地域の安心・安全面でも社会的な役割を担っています。

皆さんが普段利用している道路の各所で、夏の暑さや冬の寒さの中でも懸命に作業をしている現場を目にすることがあるかと思えます。

そうしたときには、ぜひ地域のために頑張っている建設業に深いご理解をいただきますようお願いいたします。



▲災害時のみならず様々な土木工事を請け負い、これらの事業を通じて地域の安心・安全の確保の面でも社会的な役割を担っている。



『☆最近思うこと☆』

A・A

女性の生き方は様々です。

仕事で毎日の人。結婚して、子育てをしている人。働きながら子育てをしている人 etc...

私は、仕事で毎日の人です。

30代になると、私のような女性は比較的少なく、似たもの同士でご飯に行ったり、遊びに行ったりと、充実した日々を送っています。(本人は...)

家族や周りの結婚している友達は大丈夫かなと眺めているのかもしれませんが...

最近、会社で「女性職員のキャリアデザイン研修会」という勉強会に半強制的に参加しました。「キャリア」＝「お偉いさん」とか「素晴らしい経歴」だろうと考え、女性も男性並みにバリバリ働かなければならないというような主旨で開催されているに違いはないと思います。かなり尻込みをしていました。しかし、出席を試みたら、それぞれいろいろな立場の女性(若い人から年配までの女性職員)が参加していて、グループワークもお菓子をつまみながらで、かなりざっくばらん。

内容についても、私が考えていたような堅苦しいものではなく、『なりたい自分、実現したい自分を描いて、目標をもって生きていきましょう!!』というものでした。自分はどうしたいのか、何を指したいのか、という所に具体性がない事に改めて気付かされ、今後掘り下げて考えていかなければ!と思いました。

ライフステージによって、目標や実現したい自分はこれから変化するかもしれませんが、主体的に努力し続けることが大切なのかなと思います。自分自身を模索しているこの頃です。



かんとくさん



静岡県浜松土木事務所
天竜支局 工事課
渡邊 洵己

今年の4月から、浜松土木事務所天竜支局に配属となりました。県職員5年目で、静岡・磐田の農林事務所を経て、3ヶ所目の勤務地となります。

年度早々、旧春野町で大きな災害が発生しました。私は戸惑うばかりでしたが、地元建設業者の皆様の迅速な対応を間近に見て、地元密着の意気や連携を密にすることの重要性を痛感しました。日々の業務の段階から、私もその連携の輪の一員にならなければと感じています。

今のところ、監督どころか逆に教えていただければかりですが、一日も早く一人前の「かんとくさん」になれるよう頑張りますので、よろしく願います。



最近のキーワード

「次世代林業システムの構築」

森林再生事業化委員会は、国産材需要の拡大や国土強靱化に向けた政策提言をまとめた。提言内容は、建設や製造、金融など業界の垣根を越えて「次世代林業システム」を構築することとしており、公道や林道をつなぐ災害時の「命の道」として活用することも提案している。

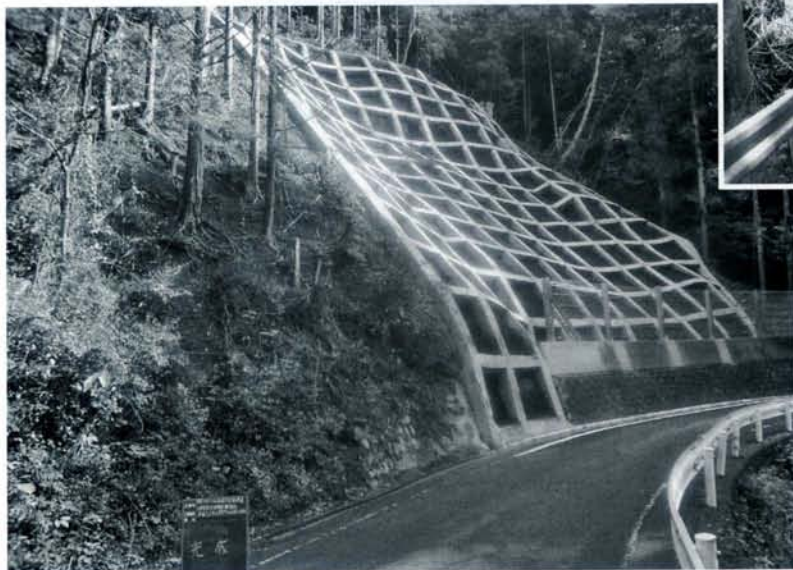
構築に向けては、▽多様な分野における木材の用途開発▽公共建築物におけるさらなる木質化の推進▽国産材合板の需要拡大▽木質バイオマスの焼却灰に関する規制緩和ーなどの施策を挙げている。

静岡県では「ふじのくに」公共建築物等木使い推進プラン」を策定し、15年度の公共部門における県産材利用目標を11年度の1・7倍まで拡大する計画を推進している。



建設ギャラリー

- 工 事 名 称 平成24年度土木施設災害復旧事業(一) 春野下泉停車場線
道路災害復旧工事(敷原)(24災第2号)
- 工 事 場 所 浜松市天竜区春野町田河内地内
- 発 注 者 浜松市
- 施 工 業 者 森吉組株式会社
- 工 事 概 要 現場吹付法枠工 539m²
落石防護柵工 15m



本工事は、度重なる風雨により、法面が崩壊し、(一)春野下泉停車場線は通行止となってしまいました。崩壊したのが お茶摘みの時期でもあり、地元の皆様からは迅速な対応を求められました。仮設防護柵を設置し、通行止を解除しながらの施工でしたが、地元の皆様のご理解ご協力のもと、早期に施工することができました。



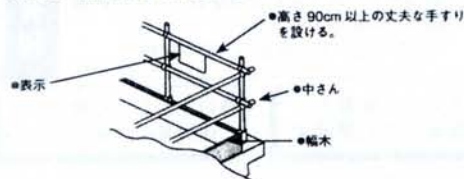
私の安全パトロール日誌

以上5点が災害の起こりやすい事故です。
工事施工に当たっては事故、災害のないよう十分な配慮をお願いします。

- ①足場からの墜落事故
- ②法面からの墜落事故
- ③飛来落下事故
- ④交通事故防止対策
- ⑤重機事故防止対策

◎作業床の端、開口部周辺の作業

●作業床の端、開口部には手すり、囲い、覆い等を設置し、標識等で注意喚起する。



安全指導員 片桐建設株式会社 片桐重文
日頃、会員の皆様を始め関係機関の皆様には建災防天竜分会の安全活動にご理解とご協力を頂きまして誠にありがとうございます。
私が安全指導者となってから早16年経ち、以前と比べると工事現場の安全管理が見違えるほど良くなっています。安全パトロールでの指示、指摘事項の多い所は次の通りです。

Coffee
Break

静岡銀行 天竜支店

沖 里紗さん

いつも静岡銀行天竜支店をご利用いただきましてありがとうございます。
私が天竜支店に赴任してから、もうすぐ一年が経とうとしています。「誰かの役に立ちたい」、就職活動の際にそう思い選んだ当行ですが、お客様にとって利益となるような情報を発信するべく日々の勉強で、辛く思う日も正直あります。しかし、お客様から学ぶことも多く、触れ合いの多い営業職に楽しみを見つけられるようにもなりました。
まだまだ未熟な私ですが、お客様から依頼されたことに対しては期待以上の「倍返し」を心掛け信頼される銀行員を目指します。

My Family



春野建設事業(協) 鈴木 健太

我が家は、私・妻・息子2人の4人家族です。
寝起きの悪い小6と小4の息子達を起こす事から始まり、喧嘩する2人を叱りながら寝かす毎日です。男の子同士の喧嘩は結構ハードな時が多く、怪我の心配をしながら見守っていると、最終的にどちらかが泣いて終了となります。兄弟喧嘩なんてそんなものでしょう。そうかと思えば2人仲良くテレビを見たり、本を読んだり、サッカーをしたりしています。息子達は週末、地元春野町

のサッカーラブに所属していて汗だくになりながら友達と一緒にサッカーを楽しんでいます。
2人が楽しんでいるのは他にも秋葉山登りがあります。私の仕事の先輩に声をかけてもらってから登り始めて、年に何回か登っています。
また毎年交代で私と一緒に行く海釣りも楽しみにしています。今年は弟君がハゼ釣りに行ってきました。釣果はまあまあでしたが私より大物を釣って大満足の弟君はニコニコの帰宅となりました。
来年はお兄ちゃんの番ですが中学になって部活が入ってくるとどうなる事やら。でも、出来る事なら続けていきたい我が家の大事な行事です。大きな声の飛び交う我が家ですが、これからも仲良し家族でいたいです。

建設業界の皆様へ

建退共への加入のすすめ

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

- 17万建設事業所が加入、296万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で214万件、1兆5千億円の退職金をお支払いしています。(平成25年9月末現在)

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与!

- 特長**
- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
 - ◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
 - ◎掛金は全額非課税
(損金または必要経費に算入できます)
 - ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
 - ◎国からの財政上の支援
(国の助成により掛金の一部が免除)

こんなに有利

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
40年	312万円	563万円
35年	273万円	461万円
30年	234万円	372万円
25年	195万円	293万円
20年	156万円	221万円
15年	117万円	155万円
10年	78万円	94万円

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主

- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方

- 掛金は一日310円
(加入労働者ひとり)

制度説明動画 配信中!

明日に、掛ける。

手帳は定期的に確認しましょう

建退共は建設業で働く労働者のための退職金制度です。

けんたいきょう

独立行政法人 労働者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

お申込・お問い合わせ先

建退共 静岡県支部

〒420-0857 静岡市葵区御幸町9-9 TEL 054-255-6846

独立行政法人 労働者退職金共済機構

建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866

建退共

検索